

立川

立川と語ろう 立川に生きよう

July 2024

Écoutez Bien Vol.40 No.472

7

立川をみんなで盛り上げたい



立川を食べよう!

eat in Tachikawa



他の写真はこちらから

SORANO ROOFTOP BAR



最初のお楽しみは小さなパン。「トウモロコシと海老のピッツェッタ アボカドとレモンのベスト」 かすかな酸味が食欲をそそります。

夏を美味しく食べる

夏に美味しい、夏だから美味しい、
それがルーフトップバーのイタリアン!

ソラノホテルの最上階。
インフィニティプールの向こうは多摩の山々。そして富士山。
立川一、否多摩一の眺望と、
ひと口ひと口に感動を呼ぶお料理。
食べなきゃわからない味ですが、少しでもお届けしたい気持ちを写真で!



前菜にはカンパチの燻製。アンチョビソースのレタスに包まって、ヨーグルトとパセリのソースがアクセント。



メインは仔羊のロティ。忘れられない味になります。カレーのようなスパイスソースでさされたズッキーニ、バルサミコソースが絶妙。ルーフトップバーのお料理はソースが残せない美味しさ。



やっぱり夏は冷製カッペリーニ。トマトソースとホタテに、チーズエスプーマが加わると濃厚なのにさっぱりしたお味に。



ドルチェはグレープフルーツジュレとライチのムース。バナラアイスが乗っています。甘すぎない、いえ、むしろお口の中をすっきりさせてくれるデザートです。コーヒーマカ紅茶と共に。

SORANO ROOFTOP BAR

立川市緑町3-1W1 SORANO HOTEL 11階

営業時間 ランチ 11:00-13:30(l.o)
喫茶 14:00-16:00(l.o)

休館日の水曜日

ランチ 11:00-13:30(l.o)
喫茶 14:00-15:00(l.o)

パーティタイム ディナー 17:00-19:00(l.o)
アラカルト 21:00(l.o)
スナック 22:00(l.o)
ドリンク 22:30(l.o)

休館日の水曜日はパーティタイムはクローズ

飛躍～想いを紡ぎ、新たな道を創造する～



ネットでも公開しています

立川青年会議所60周年、第60代理事長に聞く

立川青年会議所は1965年に設立された。全国で300番目、東京では2番目の青年会議所。立川、国立、武蔵村山の3市を活動エリアに、まちづくり・ひとづくり運動を展開している。全国的に会員数が減っている今、それでも想いを紡いで走り切る。



に向けても、今までお付き合いいただいていた団体や企業、お付き合いがなくなってしまった所も含めて、顧みてもう一度巻き込んでやっていこうということです。

——例えば。

片桐 グローバル委員会というものを立ち上げていて、グローバルミーティングを開催しています。そこにTIFA(立川国際友好協会)さんとかTMC(たちかわ多文化共生センター)さん、行政の方々や地域の企業の方々に会議に参加していただいて、地域の多文化共生について話をしてもらったり、6月29日にグローバルフェスタという事業を開催するのですが、そこに参加していただいて一緒に盛り上げていく予定です。フェスタだけでなくミーティングも重ねていて、そ

——第60代理事長ということですが、今年はどんな風に活動されるおつもりですか。

片桐 60周年は、人間でいえば還暦です。一回りということですから、一度過去を顧みようということが話題になりました。青年会議所(以下、JC)が大きな事業をやっていた時は地域の企業や団体、行政を巻き込んでいたということがわかり、60周年でまた未来

の団体のブースもあって、約1,000人のご来場者様に私たちと地域諸団体の活動を見てもらいました。

——ドームが借りられるのはありがたいことですね。

片桐 本当にそうなんです。子どもたちを集めるのに、大人数で利用できる屋内の施設ですから安全面を考えるととてもありがたいことです。

——地域を巻き込むというのがなかなか見えづらいのですが。

片桐 そうですね。巻き込む巻き込むと言って、なかなか市民の皆さんにそれをお見せすることができていない、自己満足で終わってしまうことが多いので、今年はさっしり目標の動員数を定めて各事業をやっていきたいと思っています。各団体の皆さんに集まっていたただけでなく、61年以降に繋げていくために、関係性を構築したまま今年1年走り切ろうと思ってやっています。

——JCさんの会員数が減ってきているそうですね。

片桐 はい。近年徐々に減少傾向にあり、メンバーが100人を切ってしまいました。一昨年は22名の新規入会があったのですが、昨年は10余名で終わってしまいました。2世、3世の世代が多かった時代もありましたが、今はサラリーマンの方や企業出向の方が増えてきています。なかなかご本人から積極的にJCをやるうという方に巡り合えずにいます。それでも、たまたま伺ったところで、「そんなのあるんですか。僕知りませんでした。ぜひ入れてください」という方はいらっしゃいます。

——大変ですが、入れば役に立つことが多いですね。

片桐 ですから、単純にこちらの勧誘の量も減っているだけかなと思うのです。120人で動くのと60人で動くのでは、アプローチできる人数が自ずと変わりますから。

——それは立川市に限ったことではないのですよね。

片桐 そうです。日本の全JCの会員数が減ってきているのが現実です。立川市でいえば、20歳から40歳までの人数でそんなに変化していません。なので、やはりアプローチ不足なのでしょう。全国的には少子高齢化も影響しているかもしれませんね。この10年で約1万人減少しています。会員拡大は、全青年会議所の課題です。

——人数が減ることで活動が難しくなっている部分はありますか。

片桐 そうですね。会員数だけでなく、職種でも難しい面はあります。サラリーマンの方は仕事が終わってから合流するとか、外出できる職種の方は融通をきかせて日中に活動するとか。メンバーがお互いに協力しながらやっています。人数が減った分、自分たちだけでやるというのが難しくなっています。やはり、人数が多いほど地域に与える影響も大きくなっていきますので、地域の皆さんのご協力をいただいて事業を進めていくことができないと、活動自体が拡がりづらいという問題はあります。

——逆に言うと、地域と密になるチャンスかもしれないですね。

片桐 そうなんです。地域に広げた輪の中で、もしJCに入ってくれるという人がいれば…。そういう拡がり方もあるんじゃないかなと思うんです。ということで、今年は地域に関わることに、メンバーの育成の2本柱にしています。実は立川JCに入会して3年以内の歴の浅いメンバーが増えていて、地域との60年間の歴史がありますから、メンバーを育成

片桐庸行さん

公益社団法人立川青年会議所 第60代理事長。1984年4月生まれ、立川市出身。有限会社さゆり商店 取締役。勤務先であるさゆり商店は現在日野にあるが、もとは立川。祖父の時代に高松大通り沿いで生地屋を営み、父の代になって曙町に移転、内装業に転向。立地の問題で日野に移転したが、愛光保育園、二小、立川二中の出身。高校からは駒沢大学高等学校、駒沢大学へと進学。現在も立川市在住、どっぷり立川人だ。

しつつ地域の方との交流もしっかりやっています。

——企業からの出向はとていいことだと思います。

片桐 企業の研修機関と言うとおこがましいのですが、JCに社員を入れてそこでいろいろなことを知って、JC卒業と同時にお返しするという仕組みが地域との関わりでは一番健全な関わり方ではないかと思っています。関わりの中でお互いにメリットを分かち合うことが大事だなと。関係を結んで終わりではなく、我々と一緒に活動していただいたり、また諸団体の皆さんの活動に協力させていただいたり、後に続く関係性の構築が私の希望です。——なるほど。

片桐 人と人の繋がりで私もここまでやらせていただいています。会社もそんなに大きくないですし、人脈がすごいかというとそれほどでもない。ただJCに入って、地域の方々や行政の皆さんとお知り合いになって、メンバーとか卒業された先輩たちに応援していただいて、今理事長をやらせていただいているのだとしみじみ感じています。繋がりがって一言でいうと簡単なのですが、継続していくことはお互いの心の寄せ合いがないとできないことです。相手が団体や企業だったら、JCの方から積極的に関わっていかないといけないと思っています。

——農家のメンバーやアスリートメンバーもいらっしゃるんですね。

片桐 はい。立川は多岐に亘っていて、メンバーもいろいろです。特に立飛さんがスポーツに力を入れるようになってから、どんどん変わってきていますから、まだまだこれからだと思っています。私が中学生の頃は、スポーツをやりたいでもやる場所がなかった。でも今は選べますからね。思いをもっている人たちが集まって一緒にやれるのが理想ですね。

——8月には子ども向けに何かなさるとか。

片桐 はい。7月10日には60周年の式典があって、8月には子どもたちに体験を広げたいという主旨で、青少年委員会が事業を計画しています。いろいろな格差社会の中で、親御さんの積極性や、金銭面のこともありますが、体験することができない子どもたちもいます。そういった状況を打破したいと考えています。ネットで調べればわかることですが、

——やるとやらないとは大違い。

片桐 その通りです。習い事の数で未来が決まるわけではありません。でも知っているか知らないかだけでも選択肢が変わってくる。ほんのひと体験だけでもいいかもしれませんが、私たちはそういう部分の手助けをしたいと思っています。子どもの体験を通して、親御さんの考え方も変わっていくかもしれない。子どもたちにいっぱい体験をさせてくださいという目的で、青少年委員会は今年1年動きます。

——具体的には何をなさるのですか。

片桐 まだ計画中ですが、横田基地へみんなで行ってみようと思っています。以前先輩方の時に一度やっているの、それを今年またやりたいなと、そしてできればその先へ繋いでいきたいと思っています。

——今、立川はいろいろな経験ができる街になっています。

片桐 立飛の村山社長はなんでも本物をもってくるとおっしゃっています。コロナ前には流鏑馬、その後はコンサートも大相撲も歌舞伎も、今度はブロードウェイミュージカルですか。本物はすばらしいのですが、

——高いんですね(笑)。

片桐 ええ(笑)。でも、子どもたちには、今すぐどうこうでなくて、将来的に選択肢を広げていけるよう、支えていきたいと思っています。



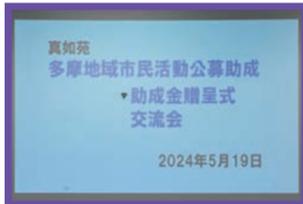
ネットでも公開しています

5月の立川は大賑わい

立川駅から立飛駅まで、イベントめじろ押し

「立川いったい音楽まつり(5/18~19)」の各会場、JCの「わんぱくフェスティバル(5/19)」、「立川落語会(5/18)」に立川商工会議所の「TACHIKAWA GREEN FES(5/18)」,そして真如苑の「助成金贈呈式(5/19)」。他にも駆け足であちこち巡ってみました。立川っていろいろな団体がいろいろなことをやって盛り上げているんです!2日間を写真で簡単にご紹介。立川は元気ですよ!次回はあなたも一緒に楽しみませんか。

- 立川いったい音楽まつり
- わんぱくフェスティバル
- 立川落語会
- TACHIKAWA GREEN FES
- すわっ祭
- 真如苑の助成金贈呈式



真如苑には助成事業の1つとして「多摩地域市民活動公募助成」があるそうです。この日は助成金の贈呈式でした。



40の団体が助成を受けられるそうで、ここではそれぞれの紹介です。名前を読み上げているのは、助成に当たって審査をされた、大阪ボランティア協会 理事長の早瀬昇さん。その右は 東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室室長の熊谷紀良さん。

曙信徒会館で



武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、国分寺市、小平市、西東京市、日野市、八王子市、町田市、昭島市、青梅市、羽村市、多摩市、東大和市、武蔵村山市、そして立川市からは5団体が贈呈式に参加。

ドーム立川立飛で開催した立川青年会議所の「わんぱくフェスティバル」



フットサルも参加していました



ドーム立川立飛で

こちらはボクシング



わんぱくフェスティバルは相撲がメインスポーツとしての相撲は男女平等



GREEN SPRINGSで



中央公園で



基調講演やパネルディスカッションなど催しはさまざま



国営昭和記念公園 花みどり文化センターで開催された、立川商工会議所の立川グリーンフェス。17カ国の大使館から来賓があったそうです

緑町公園で



花みどり文化センターで



えくてびあんに毎年ご連絡くださる「立川中央ハーモニカサークル」の演奏



立川タクロスで



柴崎学習館で



こちらも存じ上げのお顔ばかりの「立川コールフレンズ」



柴崎町の見知った奥様たちのコーラス「コールコスモス」

柴崎学習館まつりですから、こういった出し物もあります

立川北

JR 立川駅

立川南

サンサンロードで



立川相互病院で



損保ジャパン立川ビルで



こんなコーナーも

高島屋S.C.



屋上

テラス

伊勢丹立川店で



グランデュオ・ルーフトップで



落語会で

前回の志ん士さん、今回は前座



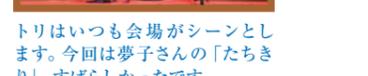
落語会会長の欽七さんが「地獄の時間」という大喜利



トリはいつも会場がシーンとします。今回は夢子さんの「たちきり」。すばらしかったです。

一番奥が欽七さん

毎回やってから「やらないやよかった」と自分で言う南京玉すだれ



- 金田スイミングスクール立川立飛
ルーデンス食堂
米穀・食料品 横町屋..... 522-2609
サイクルセンターシバタ..... 522-3888
セイロン風カリー シギリア 507-2418
ライブハウス Crazy JAM 529-9507
立川湯屋敷 梅の湯..... 522-3800
ヘアーサロン イトウ..... 522-6281
立川伊勢屋 本店..... 522-3793
大野サイクル..... 523-2061
立川キリスト教会..... 526-6826
サロン・ケベク美容室..... 527-4716
HAIR MAKES たしろ..... 525-2175

- うなぎ しら澤..... 524-5061
久住ハウジング(株)..... 527-8007
不動産 大晋商事..... 525-3110
ヤマハミュージックペニユール立川 523-1431
蕎麦懐石 無庵..... 524-0512
あら井館総本店..... 522-2957
大衆劇場 立川げやき座..... 512-5057
立川伊勢屋 ルミネ店..... 524-3395
多摩信用金庫 すまいるプラザ立川店 0120-667-646
オリオン書房 ルミネ立川店 527-2311
みずほ銀行 立川支店..... 524-3121
コスメドール 辰己屋..... 524-6051
黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI 523-0166
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888
三井住友銀行 立川支店..... 522-2151
レストラン サヴィニ..... 525-1662
立川献血ルーム..... 527-1140
アートルーム 新紀元..... 528-6952
MOTHERS ORIENTAL..... 528-0855
和食どころ 若草茶屋..... 526-0010
三上饅頭店..... 522-3259
ビックカメラ 立川店..... 548-1111
Charcoal Dining るもん 527-3022
酒亭 玉河..... 522-2654
玉屋 KITCHEN..... 595-7847
ホテルエミシア 東京立川..... 525-1121
カフェアバン..... 527-4479
手打ちそば しえ もと..... 529-5468
シンボン..... 522-6211
天ぶら わかやま..... 525-0222
café cocokara..... 512-7159
多摩水族館..... 524-0288
すし 魚正..... 522-3437
Cut Studio SOFIA..... 528-3241
立川市女性総合センター アイム 528-6801
オリオン書房 ノルテ店..... 522-1231
シネマシティ シネマ・ツアー 050-6875-3975
洋食屋 にゅうとん..... 522-3921

- 額縁専門店 プリムベール..... 528-6789
多摩信用金庫 東立川支店..... 524-0611
まごころ銘茶 狭山園..... 527-0146
ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
林歯科医院..... 522-5657
新鮮野菜・惣菜 立川商店..... 522-3565
本・事務用品 泰明堂..... 522-3353
本と文具 ないとう..... 522-3677
赤松タバコ店..... 524-7852

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマホアプリ「スカパー！番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

掲載しきれなかった写真などはQRコードからどうぞ



消防技術の維持向上を常に目指して

5月15日～17日、立川消防署では高度な消防技術の維持向上を目指して消防活動技術訓練効果確認が行われました。この効果確認は実際の火災現場で求められる安全、迅速かつ正確な対応能力を確認し、さらなる技術とチームワークの向上を図る重要なイベントです。東京消防庁ではこのような効果確認を定期的に開催することで消防隊員の技術水準を高めて都民の生命、身体、財産を守るための体制を強化しています。(写真、文とも立川消防署提供)



消防活動技術訓練効果確認の様子

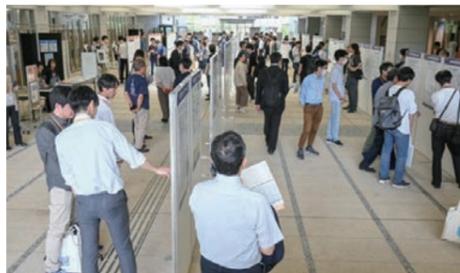


統数研のオープンハウス

5月24日、統計数理研究所の研究内容ポスター発表に行ってきました。公開講演会はちょっとハードルが高いのでパス。ポスター発表も、説明がないとわからないのが事実です。でも、少し説明してもらおう、なるほど！の連続。面白い！その研究をしている先生たちが傍にいますので、捕まえて話を聴く。なんともいい雰囲気なのです。121の研究発表全部の説明は聞けませんが、話をうかがったいくつかは、少なくとも理解できて興味深かったです。



入口



ポスター発表の様子

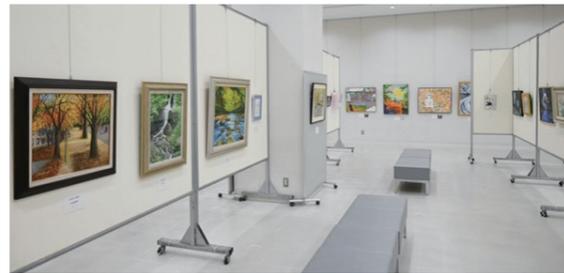


Event Horizon Telescopeプロジェクトは国際的な天文学の国際共同研究プロジェクト。地球上に点在する複数の電波望遠鏡を組み合わせて地球サイズの電波干渉計を構成し、超巨大質量ブラックホールのシャドウを画像化してブラックホールの物理を理解します。

複数の腫瘍に対する放射線療法の数理的考察 「腫瘍が2つあるとき...同時に照射 別々に照射 どちらがいい?」とは、ものすごく知りたい話です
授業への出席は成績向上につながるのか
義理人情度からみた地方への移住意向：日本人の国民性調査結果から
「義理人情」は廃れた言葉かと思っていました、そうでもないらしい。

第30回たちかわアートギャラリー展

「描く喜び 観る楽しみ」がサブテーマの第30回たちかわアートギャラリー展。5月18日～26日までたましんRISURUホール展示室で開催されました。同時開催で、第11回立川女子高等学校美術部展、たちかわアートギャラリー展 入賞者記念展も。応募総数183点の中には絵画だけでなく、刺繍や篆刻石、押し花などもあり多彩な美しさでいっぱいでした。辰年だからか、龍がテーマのものが目につきました。



展示の様子



個性を生かしてアーティストとして歩み始めている青年の絵



RISURUホール展示室入口



展示の様子

元立川市長 青木久さん99歳の講演会

99歳とはこんなに矍鑠としたものか。5月25日、女性センターアムホールで青木さんが来し方を語りました。題して『わが人生99歳(白寿)を語る!』。1時間立ったままで原稿なしの講演。淀みなく、人の名前も数字も間違いなく、話ががちこち飛ぶこともなく、本当に素晴らしい! 年を重ねてもかくありたい、そう思った方も多かったのではないのでしょうか。今の立川を作ってこられた方のお話、聴ける機会はそうありません。もし、紀寿のお祝い講演会があるならば、是非足を運んでみてください。



都立立川高校(青木さんの母校)卒業生有志による校歌合唱



元立川市長、一般社団法人 多摩楽友協会会長 青木久さん

えくてびあんスタッフ一同

ビーチバレーボール、ナイター開催

7月13日(土)～14日(日)、ジャパンビーチバレーボールツアーが開催されます。今大会はツアー初となるナイター開催で、さらに国内初のQueen&king of the court方式。21点セットマッチ、トーナメント方式のシビアな戦いです。通常の試合とは異なるスピーディーな展開となることが予想されます。暑い時期ですから、ナイターは選手にも観客にもありがたいことですよ。観覧は有料ですが、場所がタチヒビーチなのでBBQをしながらの観戦も楽しそう。



表紙

夜の街に降る花(国営昭和記念公園)

7月27日(土)、立川まつり国営昭和記念公園花火大会が開催されます。約5000発、立川のすこい所は数だけではありません。広大な公園の中から上げられる一尺五寸玉が圧倒的な美しさで迫ってきます。さて、表紙の写真、街の灯りも1つひとつが小さな花火のようです。灯りのともる窓辺にはきっとご家族で、あるいはご夫婦で、もちろんおひとり様も花火を堪能されていることでしょう。「みんなの原っぱ」で観覧するもよし、家の窓から、遠くから、花火を楽しむもよし。目に美しく、音に感動、振動が胸に響いて、花火はどんな人も楽しめるエンタテインメント。だから廃れることなく、長い歴史をもっているんですね。

かたこと

◆関東は梅雨明け予想が7月19日頃だということで、えくてびあん8月号が発行される時です。7月号をお届けする今、もう8月号かと思われるかもしれませんが、えくてびあん編集部は1年はとても速い◆世界に目をやれば、紛争の火種は増えるばかり。立川とご縁の深いニューカレドニアでも暴動が起きました。これだけ多様性と調和の大切さが叫ばれる時代にどうして...と思う方も多いことでしょう◆自然災害の恐ろしさもマウイ島の大火災や、ブラジルの大雨による広範囲の洪水で思い知らされたところです。他を思う優しさが必要とされる時なのかもしれません◆真如苑助成金贈呈式でいろいろな団体の方たちがすばらしい活動をしていることを知りました。今年初めて助成金を受ける立川市の「錦町パレード実行委員会」さん。縮小化してしまった錦町の祭りパレードを次世代に向けて再建したいとおっしゃっていました。子どもが減っていく時代、立川南口の文化伝承もすばらしい取組ですよ。もちろん立川市獅子舞芸能保存会さんも助成金贈呈式にいらしてました◆今まで気にもとめていなかった広告に目がいくことがあります。『膝だけに効くサプリメント』とか『飲んでシミに効く』とか。先日は『顔のお悩み テープ貼るだけでスッキリ』なんていう文字に目が留まってしまいました。いくつに戻りたいと聞かれたら、びよんびよん跳べた番茶も出花の頃でしょうか。

えくてびあん◎

7月号 第40巻 通巻472号

令和6年7月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・編集 えくてびあん編集スタッフ
写真 五来孝平・鎌田茉莉子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

サンバカーニバル



えてびあんの写真から

昨今は、南でフラメンコ、北でフラダンスの立川ですが、その昔は南口でサンバパレードが行われていました。その昔と言いますが、そんなに昔ではありません。もちろん平成の時代ですし、南口の区画整理も整ってきてからのことです。柴崎町2丁目を賑やかに演奏しながら踊りながら、周囲に元気や明るさを振りまいていました。写真にはまだ医療モールが建つ前の空地为隔てて、走行中の中央線101系が見えます。101系の運用終了が2003年ですから、この写真はそれより前に撮影したものです。

「立川といえばフラメンコ」、いやいや「立川はフラの聖地」、かと思えば、サンバもあって、民謡流しもあって。何でもあるのが立川なんです。浴衣を着て楽しむ、地元の普通の盆踊り。今年は、実施している町会をお訪ねしてみましようか。

